






財務部 成果報告

財務部長 田口春彦

部局達成度

				
1	3	-	-	-

総括

令和3年度は、財政再建計画に掲げた取組を着実に実行し、厳格な予算執行と財政調整基金の目標以上の積立てにより、財政健全化を進めるとともに、令和4年度当初予算も基金繰入に頼らない編成を行いました。

施設の整備、維持管理においては、部局横断による課題検討や、サウンディング型市場調査、財産有効活用民間提案制度などの官民対話を実施するとともに、未利用地の売却や財産の貸付等、財産の利活用により収入を確保しました。

入札については、参加資格の申請手続きにおいて、福井県電子申請サービスを利用したオンラインによる受付を開始しました。また、入札事務の効率化を図るため、事後審査型入札を試行し、事業者の事務負担を軽減しました。

市税等の収納については、納税コールセンター架電や夜間・休日納税相談窓口の実施、口座振替の推進などにより、滞納整理の早期着手や公売処分積極的に取り組むとともに、現年課税分の徴収を強化し、収納率の目標を達成しました。

今後も、財政再建計画を基本とした福井市財政計画（令和4～8年度）の取組を進め、収支均衡した予算編成とともに、安定的な市税収入の確保や公共施設の適切な管理等により、健全で持続可能な財政運営に努めていきます。

また、課題の解決を図るため、デジタルトランスフォーメーション、いわゆるDX化を推進していきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 財政再建計画（平成30年度～令和5年度）を着実に実行し、持続可能な財政運営に取り組みます

令和3年度においても、財政再建の取組を着実に実行するとともに、厳格な予算執行を行うことにより財源の確保に努めるなど、財政健全化を進めてまいりました。

令和4年度当初予算編成においても、引き続き、事業費や人件費の縮減、投資的経費の抑制、歳入の確保など財政再建計画に掲げる6つの取組を行うことにより、基金繰入に頼らない予算編成としました。

今後は、財政再建計画を基本として、新たに策定した福井市財政計画に掲げた取組を進め、将来にわたり持続可能な財政運営を行っていきます。

II. 施設マネジメント計画に基づき、公共施設の計画的な整備・維持管理及びPPP/PFI推進に努めるとともに、財産の利活用を進めます

施設マネジメントを推進するため、部局横断による課題検討や、サウンディング型市場調査、財産有効活用民間提案制度などの官民対話を実施しました。

また、未利用地の売却や財産の貸付等を行い、新たな収入を確保しました。

来年度も、引き続き施設マネジメントの推進を図ります。

III. 入札契約における透明性・公正性の向上及び効率的な行政運営を行うため、入札契約制度の改善に取り組めます

入札参加資格の申請手続について、福井県電子申請サービス（ふくe-ねっと）を利用し、オンラインによる受付を開始しました。

また、入札事務の効率化を図るため、建設工事の条件付き一般競争入札を対象に事後審査型入札の試行運用を開始しました。その結果、事業者の事務負担を軽減することができました。

今後も、入札契約における透明性・公正性及び事務効率の更なる向上を図り、市民の信頼確保に努めていきます。



IV. 市税等収納率向上のための取組を推進します

滞納整理の早期着手や公売処分などに積極的に取り組んだ結果、市税等の収納率の目標を達成しました。




今後も、効果的、効率的な滞納整理を進めるとともに、納税環境を整備することで納税者の利便性向上を図りながら、税収の安定的な確保に努めます。

また、税負担の公平性に対する市民意識の更なる醸成や、市税等の収納率向上の取組を推進します。


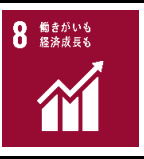


I. 財政再建計画（平成 30 年度～令和 5 年度）を着実に実行し、持続可能な財政運営に取り組みます

1	健全で持続可能な財政運営の推進		達成度	
実行内容				
行動目標	<p>財政再建計画（平成 30 年度～令和 5 年度）に掲げた 6 つの取組を着実に実行することで、健全で持続可能な財政運営の実現を目指します。</p> <p>そのため、計画に基づいた予算執行と財政調整基金の積立てを行うとともに、予算編成においては、基金繰入に頼らない収支均衡した財政構造の確立を図ります。</p> <p>また、福井市行政改革推進委員会 財政健全化専門部会を開催して計画の推進について検証し、併せて経過の進捗状況の市民への周知に努めます。</p>			
取組内容	<p>【予算編成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 4 年度当初予算の編成 <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線開業を控えた福井の魅力の磨き上げと、明るい未来に向けた安全で豊かな地域づくり、DX 及びゼロカーボンシティの推進 ・財産収入やふるさと納税など、あらゆる財源確保への取組 ・基金繰入に頼らない予算編成 <p>【財政健全化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○財政再建計画の進捗管理 <ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化専門部会の開催（11 月、3 月） 計画の進捗状況、効果実績等の報告及び評価、検証 ホームページ等による市民への周知 ○市債残高の縮減（4 月） <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度末残高：対前年度△55 億円（見込み）※臨時財政対策債・借換債を除く ・交付税措置のない市債の借入を抑制 			
指 標				
計画		結果・成果		
<p>基金繰入に頼らない予算編成</p> <p>財政調整基金残高 3.3 億円（元年度末）→10.7 億円（2 年度末） →15 億円以上（3 年度末）</p> <p>市債残高 962 億円（元年度末）→921 億円（2 年度末） →918 億円以下（3 年度末）</p>		<p>基金繰入に頼らない予算編成</p> <p>財政調整基金残高：28 億円</p> <p>市債残高：866 億円（見込み）</p>		
成果・課題	<p>将来にわたり持続可能な財政運営に向けて、令和 4 年度当初予算も基金繰入に頼らない予算編成を行いました。</p> <p>福井市財政計画に掲げた令和 8 年度末財政調整基金残高目標である 50 億円以上を達成するため、今年度、約 17.3 億円を積み立てました。</p> <p>市債残高についても、目標達成に向けて借入抑制するとともに、より有利な市債を活用するなど、後年度負担の削減に努めます。</p> <p>計画の進捗管理については、行政改革推進委員会内に設置した財政健全化専門部会において、市民の代表や専門家からの意見を聞きながら計画を実行し、収支均衡した財政構造を継続していきます。</p>			



II. 施設マネジメント計画に基づき、公共施設の計画的な整備・維持管理及びPPP/PFI推進に努めるとともに、財産の利活用を進めます

2	施設マネジメントの推進			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>市有施設全体の最適化、長寿命化及び更新コストの平準化を図り、将来にわたり安定的に行政サービスを提供するため、施設マネジメントを推進します。そのために、施設マネジメントアクションプランを着実に実行するとともに、個別施設マネジメント（部局横断による課題検討）や、民間提案制度、サウンディング型市場調査などの官民対話の実施にも取り組みます。</p> <p>また、利用しなくなった財産の売却や、空きスペースのある財産の貸付など一層の利活用を図ります。</p>				
取組内容	<p>○部局横断による施設マネジメントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧治水記念館の利活用や、公共施設におけるコスト削減手法等の検討 <p>○官民対話の実施（3件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンディング型市場調査（6～7月実施） ・財産有効活用民間提案制度（9～3月） ・ふくい地域プラットフォーム（3月） <p>○施設マネジメント合同研修会の開催（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「官民対話や公会計の活用」をテーマとしたオンラインによる講演（2月、約50名参加） <p>○財産の利活用 5,017万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売却収入 2,140万円 土地1件（大森団地）、車両14台、備品7件 ・貸付収入 2,818万円 土地60件・建物4件、地下食堂、企業局旧ガスショールーム <p>自販機30台、案内地図板、窓口案内システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告収入 59万円 窓口受付システム、公用車広告 				
指 標					
計画			結果・成果		
部局横断による施設マネジメントの実施 官民対話の実施： 3件（元年度）→3件（2年度）→3件（3年度）			部局横断による施設マネジメントの実施 官民対話の実施：3件		
成果・課題	<p>施設マネジメントを推進するため、部局横断による課題検討や、サウンディング型市場調査、財産有効活用民間提案制度などの官民対話を実施し、それぞれ目標どおりに取り組むことができました。</p> <p>また、財産の利活用については、大森団地の売却や財産の空きスペースの貸付等を行い、5,017万円の収入を確保しました。</p> <p>来年度は、引き続き上記の取組を行うとともに、施設マネジメントアクションプラン第2期（令和6～10年度）の策定に向けて、同アクションプラン第1期（令和元～5年度）の課題の整理や分析を行い、なお一層、施設マネジメントの推進を図ります。</p>				

Ⅲ. 入札契約における透明性・公正性の向上及び効率的な行政運営を行うため、入札契約制度の改善に取り組みます

3				達成度							
実行内容											
行動目標	<p>入札参加者の負担軽減や利便性向上、事務効率化を図るため、自治体DXを推進するとともに、入札契約に係る手続き及びその運用の改善を進めます。</p> <p>そのため、申請等の入札契約に係る手続きのオンライン化に取り組みます。</p> <p>また、入札公告後、全ての入札参加者に審査書類の提出を求める「事前審査型入札」を行っていますが、開札執行後、落札候補者のみに審査書類の提出を求める「事後審査型入札」を試行します。</p>										
取組内容	<p>○入札参加資格申請のオンライン化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン化する業種や運用方法の検討（4～9月） ・申請システムの検討・選定（4～9月） ・申請フォームの作成、動作確認（10～11月） ・入札参加資格申請要領の改訂、事業者への周知（12月） ・オンライン受付の運用（1月～） <p style="padding-left: 20px;">対象業種：建設工事、建設コンサルタント業務、一般業務、物品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事管理システム改修（1月～）※令和4年9月完了見込 <p style="padding-left: 20px;">改修内容：福井県電子申請サービス（ふくe-ねっと）とのデータ連携機能追加</p> <p>○事後審査型入札の試行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行に向けた協議等 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">入札制度改善検討委員会</td> <td>作業部会（2回）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">//</td> <td>幹事会（2回）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">//</td> <td>委員会（2回）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・試行要領の策定、事業者への周知（9月） ・試行運用（10月～） <p style="padding-left: 20px;">対象：建設工事の条件付き一般競争入札</p>					入札制度改善検討委員会	作業部会（2回）	//	幹事会（2回）	//	委員会（2回）
入札制度改善検討委員会	作業部会（2回）										
//	幹事会（2回）										
//	委員会（2回）										
指 標											
計 画			結 果・成 果								
<p>入札参加資格申請のオンライン化：1月</p> <p>事後審査型入札の試行：10月</p>			<p>入札参加資格申請のオンライン化：1月</p> <p>事後審査型入札の試行：10月</p>								
成果・課題	<p>入札参加資格申請のオンライン化は、福井県電子申請サービス（ふくe-ねっと）を利用し、1月に運用を開始しました。今後は、オンライン申請の利用促進に取り組みます。</p> <p>事後審査型入札は、建設工事の条件付き一般競争入札を対象に10月から試行運用を開始しました。その結果、事業者の事務負担を軽減することができました。来年度は、対象を業務委託へ拡大するなど、引き続き入札契約制度の改善に取り組みます。</p>										

IV. 市税等収納率向上のための取組を推進します

4	市税等収納率の向上		達成度 
実行内容			
行動目標	<p>租税負担の公平性を維持するとともに、財政運営の根幹をなす市税等収入の安定的確保のため、効果的な納税勧奨や指導を早期に実施します。</p> <p>また、コロナ禍での経済停滞に伴う納税資力の変化に配慮しながら、不動産や動産の公売などの滞納処分に積極的に取り組み、市税等収納率の向上に努めます。</p> <p>特に今年度は、現年度課税分の徴収強化を図り、滞納繰越の抑制に取り組みます。</p>		
	取組内容	<p>○納税コールセンター業務</p> <p>架電数 3,588 件</p> <p>納付承諾件数 1,588 件【44.3%】</p> <p>○夜間、休日納税相談窓口の開設【夜間 3 日、休日 8 日 計 11 日間】</p> <p>相談件数 86 件</p> <p>納付金額 344,350 円</p> <p>○滞納処分の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差押の実施 2,691 件 ・公売の実施 不動産 95 件 <li style="padding-left: 20px;">動産 7 件 <p>○口座振替の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勧奨チラシの内容見直し【8 月実施】(ナッジ理論を活用) ・一斉催告への口座振替申込書の同封【9 月実施】(試験運用) ・SNS を活用した口座振替広報【2 月実施】 <p>○管理職滞納整理の実施【11 月 11 日～16 日 6 日間】</p>	
指 標			
計画		結果・成果	
市税 現年課税分収納率： 99.2% (元年度) →98.9% (2 年度) →98.8% (3 年度)	市税 現年課税分収納率： 99.5% (見込み) 国民健康保険税 現年課税分収納率：95.6% (見込み)		
国民健康保険税 現年課税分収納率： 93.8% (元年度) →94.9% (2 年度) →94.4% (3 年度)			
成果・課題	<p>納税コールセンター架電や夜間や休日納税相談窓口の実施などにより、納税の勧奨や指導を早期に行ったことに加え、口座振替の推進などによって現年課税分の徴収強化を図りました。</p> <p>併せて、積極的な滞納処分に取り組んだ結果、市税収納率は 0.7 ポイント、国民健康保険税は 1.2 ポイント目標を上回る見込みとなりました。</p> <p>今後も、税負担の公平性に対する市民意識の醸成を図るとともに、更なる滞納整理の迅速化や口座振替の加入促進に取り組み、収納率向上に努めます。</p>		